



税金ってなぜ必要なの？ 荒砥小学校で租税教室

11月14日、東北税理士会長井支部が主催の租税教室が荒砥小学校6年生を対象に開催されました。税金がどのように使われているのかを、楽しみながら学んで社会の学習につなげてほしいと開かれたもので、もし税金がなかったらどうなるのか、納税は助け合いの社会をつくるために大切なことを、アニメの鑑賞と〇×クイズで学びました。年間で50兆円の納税があることを教わり、1億円のレプリカも登場しました。



甘いりんごが実りました 鮎貝小学校3年生がりんごを収穫

11月11日、鮎貝小学校の3年生26人が、学校近くのりんご畑で、甘く大きく実ったりんごを収穫しました。6月に摘果を、9月には葉摘みを体験。葉摘みの際、児童たちは、りんごに思い思いに描いた絵やメッセージなどを書いたオリジナルのシールを貼り、この日の収穫を心待ちにしていた様子。収穫後、児童たちは、たくさんの蜜が入った甘いりんごを笑顔でほおばっていました。



ありがとう西中(サッカー部)！ 世代を越えたサッカー部OB交流試合

11月23日、東陽グラウンドで、西中学校閉校記念サッカー部OB交流試合が行われました。西中学校が今年度で閉校することから、サッカー部OBの有志が企画。発案から1カ月足らずでしたが、当日は20代前半から50代後半まで幅広い世代のOBが集まり、蚕桑出身と鮎貝出身に分かれて試合を行いました。サッカーを続けている人もいない人も、みんな中学時代に帰ったように笑顔でボールを追いかけた一日でした。



女性の胃袋をわしづかみ！ 白鷹産食材料理講習会

11月18日、健康福祉センターで、イタリア料理「S I A T T A C A」のオーナーシェフ安達稔さんを講師に迎え、白鷹産の食材を使った料理講習会が開催されました。豆と青菜漬けのリゾット、ごぼうと野菜のミルクコンソメスープ、リンゴのキャラメリゼなど、どの料理にも白鷹産の食材を取り入れ、作り方を丁寧に教えていただきました。参加者からは、「また自宅でも作ってみたい。」などの声が聞かれました。



第15回ふるさとCM
「日本の紅をつくる町」
音楽賞を受賞

Y T S 山形テレビが主催する「第15回ふるさとCM大賞」において「日本の紅をつくる町」として制作した白鷹町の作品が特別賞の「音楽賞」を受賞しました。

白鷹町が生産量日本一となる紅花の生産を「咲かせて摘んで紅にして」とリズムカルに表現。昨年の「映像賞」に続く受賞です。

作品は、特別賞の副賞として山形テレビで年間90回放送されます。また、町のホームページ、Y T S のホームページでもご覧いただけます。